

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成25年3月14日（木） 19：00～21：00

ところ：青年の家 研修室

団 体：NPO法人大垣市レクリエーション協会 22名

【団体】

今日は市長さんとお話できる貴重な機会です。レクリエーション協会にはいろいろな団体がありますが、実態を市長さんに話し、それぞれの立場から要望等があれば話していただけて市政に反映してもらえればと思います。また、それがレクリエーション協会の発展に繋がればいいなと思います。



【団体】

大垣市レクリエーション協会も40周年を迎え、31団体1,100人の登録者がいます。平成19年度には青年の家の指定管理者として施設の管理運営をまかされ、幅広い活動を行っています。今日は、意見要望等や団体についての思いを語っていただけて、大垣市で暮らしてよかったと思えるようなまちづくり人づくりをしていきたいです。子育て、かがやきライフ、安全安心として市長さんが推進していることは、40年前から大垣市レクリエーション協会はおこなっていたと自負しております。前向きにお話いただけて、市政と私達の活動とをつないでいただければと思います。

【団体】

学校の生活の中で、子ども達が、遊びから学び、学びから遊びの中で、学んでいくことが多いことに気づきました。例えばレクリエーションを通じて学校にきていただく人や他の児童生徒の交流の中で、人との繋がりができたと思います。人と人との関わりを作る場としてもレクリエーションは大きな役割を担っています。教師も最近では、若い方がふえて、レクリエーションを取り入れています。

【団体】

高齢者に運動の大切さをPRしていくとよいと思います。運動を続けていくことで高齢化社会の医療費の軽減を図れると思います。レクリエーション協会を通じてでもよいので、なにか運動することを促すとよいです。女性は積極的に参加するのですが、男性は退職後、家に引きこもっている方がいます。なにかきっかけを作ってあげて、活動に参加してもらえるとよいと思います。

【団体】

子どもだけの太鼓はありますが、子どもと大人が一緒にできるところに麩城太鼓のよさがあるので、なんとか麩城太鼓の存在をPRしていきたいです。ただ、大人の会員が少ないため、困っています。



【団体】

年に数回の太鼓の講習会をすると希望者が多いため、みなさん関心がないわけではないと思います。

【市長】

子ども達の教育では、基礎学力を学ぶことも大切ですが、創造力を養い、創り出す力も大切です。子どもに川の流れを石などで変えて遊んだものですが、そのように自然の中で遊び、遊びを作ることで人間の創造力を育むことになります。レクリエーションは学校教育、社会教育として効果のある事業だと思います。

また、退職後の生きがいづくりとして、「かがやきライフタウン事業」を市としても推進しています。30年間仕事で養われた知識、経験を退職してからも発揮していただけるよう行政も促しています。本人の生きがいづくりでもあり、社会にとっても大切だと思っています。

高齢者の運動の大切さは言われております。歩くことがよいと言われていまずので、元気で生きがいづくりや、脳の活性化にもなりますし、引きこもりも防止できます。市でも、四季の里ウォーキング等の事業を行っています。

生涯のレクリエーションとして、太鼓は続けることができますので、そのような形でみなさん続けていただけるとよいです。ずっと続けることができるところが文化活動のよいところです。

【団体】

レクリエーションのインストラクターの講習を受けて、その後仲間で団体を作って活動を行っています。5年経ちまして、会員も15人になりました。老人ホームや幼稚園では、おりがみやクラフトを作成したり、またレクゲームを行ったりしています。

提案ですが、秋ぐらいに「アートフルタウン」という名称で、駅前の閉まっているお店を利用してギャラリーのように絵が飾ってありました。秋だけではなく、ずっと続けていただけたほうがよいと思います。

お願いですが、成人学校の講座で10名以上集まらなないと講座が開設できないとのことで、7名では断られました。ある程度の幅をもたせてほしいです。それが無理であれば、人数が少ないときは事前に教えていただければ、声をかけるなど参加を促すことができるので、情報を流していただきたいです。

【団体】

成人学校の講座のお話は、私もそう思いますので改善してもらえると嬉しいです。私たちは、婚活クッキングやエコクッキングは行いましたが、今の時代、災害時の料理講座ができるとよいと考えています。

【団体】

小倉百人一首は、今から800年前に作られて今日まで続いています。岐阜県かるた協会は高校のクラブが母体です。その後、県内でも会員が増えて現在に至っています。最近では、「ちはやぶる」というアニメがはやっていて、その影響で若い人の会員も増えています。競技かるたとは、記憶力、集中力、瞬発力そして己に勝つ力が必要です。若い人たちが正しく育っていくために、ぜひ競技かるたをお勧めします。今年は第1回奥の細道むすびの地全国かるた大会を武道館や中川ふれあいセンターで行う予定です。全国から200人から300人の人が集まります。ただ、かるた部がある高校はありますが中学校ではないため、ぜひかるた部を作っていただきたいです。



【市長】

子ども達との交流は、元気をもらいます。子ども達や高齢者の交流は続けていただきたい。

アートフルタウンですが、芸術の秋にちなんで駅前の閉まっているシャッター街を利用し、ギャラリーをめぐる感覚で事業を行いました。ただし、継続するのは大変だということが分かりました。借り代もかなりかかりますし、お店は閉めていても住んでいる場合がありますので、出入りしにくいなどいろいろと問題があり難しかった。継続できると本当はよいことですが、来場者の駐車場も必要で難しい。

料理は、クリエイティブな活動であると思います。自分自身も楽しむことができますし、脳の活性化や介護予防にもなります。災害時にも対応できる料理講習はこれから必要です。婚活も少子化対策の一環で行っています。まちコンも8月に行い、大変好評でした。結婚するカップルができるだけでなく、街の活性化にもなります。

日本古来の伝統文化で俳句よりも古い、和歌短歌に親しむことはよいです。競技かるたは指導者の数や教え方など、影響はどうか？

【団体】

やはり指導者がよいと、上手になります。愛知県では中学生でも、かるた部があります。

【団体】

0歳児から6歳までの子ども達に本の読み聞かせをしています。子育てサロンの中では2,3冊読んでいますが。男性にも本読み、育児サポートに参加してもらえるよう、講座を行うとよいと思います。また、核家族が進み、子ども達もおじいさんおばあさんに接する機会が少なくなったので、老人ホームや保育園を建設する機会がありましたら、ぜひこの二つを近くに作って交流できるようにするとよいと思います。

また、この青年の家をはじめ各公共施設におむつ替えのスペースを作ってほしいです。

【団体】

よさこいソーランやレクリエーションダンスを行っています。以前に比べて会員の人数が減りましたが、みんなで楽しく活動しています。毎年、春のつどいに向けてがんばって練習しています。



【団体】

15年前から、ボランティアを行っています。会員は180人ほどいます。一人暮らしや障害者の方からのちょっとしたお願いごとをボランティアで行っています。例えば、家のガラスふきや家具の移動、草取り、片付けなどです。会員は50代が多く、女性も男性も楽しんでボランティアを行っています。それに加えて、ここ最近ホームレス支援を行っています。一緒にボランティアを行うことで人間らしい生活や働くことの大切さを再び感じてもらえるようで、就職し自立していった方もみえます。

提案ですが、市の行事も芸能人にお金をかけて呼ぶようなイベントではなく、市民で作り上げていくようなイベントがよいと思います。例えば市民の手作り仮装行列大会を実施し、副賞を団体の活動資金にあてられるようにしてはどうでしょうか？

【市長】

子育てサロンでの読み聞かせ、ありがとうございます。今の子ども達は映像ばかりで視覚的に情報が入ってしまうため、聞いたり読んだりして思い描くことが昔に比べて減りました。イメージし、思い描くことは、創造力を豊かにするため大切なことです。

また、高齢者と子ども達が交流するのはよいことです。ただ、老人保健施設等が郊外に建設される傾向があります。どうしても、土地の価格に影響されてしまうため難しいです。赤ちゃんステーション（おむつ替えスペース）は市の公共施設で順次対応しております。

また、春のつどいに参加いただいてありがとうございます。80団体が参加し、楽しくサークル活動をしていただいているのはうれしいです。自分自身の健康、脳の活性化にもなります。

ホームレスの方の年代は、いくつぐらいの方が多いのですか

【団体】

みなさん50代ぐらいです。

【市長】

運営資金とかは大丈夫ですか？

【団体】

資金がなくて、大変苦しいのですが、500円ぐらい寄附をもらうのと交通費で運営しています。イオンの黄色いレシート（黄色いレシートを団体名の書いてあるボックスに入れてもらい、その合計金額の1%相当の品物を団体にイオンが

寄付している)でお米などをもらいます。

【市長】

さきほどのイベントに芸能人を呼ぶお話ですが、私も、芸能人より市民の方に出演していただいてさらなる活動資金になるようにお金を払ったほうがいいと思います。ただ、そうすると人が集まりません。新聞社をはじめマスコミ関係もそういう傾向にあります。今後、地域にお金がまわるようなイベントを考えて行きたいと思います。

【団体】

団体設立してから35年経ち会員も250人ほどいます。フォークダンスというと学校で踊らされたマイムマイムなどを思い浮かべますが、フォークダンスとは民族舞踊であり世界中で星の数ほどあると言われていています。シルバーの方は多く参加していただいています。若い人はなかなか入ってもらえないのが現状です。フォークダンス協会も普及活動に力を入れています。文部科学省で、学校の体育でダンスを取り入れられたことによりフォークダンスもぜひ取り入れていただきたいです。フォークダンスのよいことは、子どもから高齢者まで一緒に踊れ、みんな笑顔で楽しめることです。



【団体】

子ども達が自由に遊べる場所があるとよいと思います。学校の校庭はスポーツ少年団などが利用して自由に遊べない状況です。国体が終わって施設も一番充実していると思いますので、ぜひ利用できるようなるといいです。ミナモダンスや体操もこれで終わりではなくて継続して残していくとよいと思います。

【団体】

健康で生活できるように心がけています。体が柔軟であれば、心も柔軟になります。

【団体】

介護サービスの手続きが大変で時間がかかります。一人暮らしで怪我をして動けないときには利用が間に合わないため、困りました。

【市長】

学生の頃、フォークダンスは男女の交流の場でした。学校でもやっていたのがよいと思います。

大垣市はスポーツ施設は充実しています。この北公園も公園というよりはスポーツ公園です。一方、子どもの遊び場は少ないと感じております。

最近では精神的な病気も多いですので、心も体も健康になるようストレッチ等やっていたのはよいことです。

介護サービス事業等、行政は事務的なところもありますので、改めていきたいと思います。

みなさんには、今後もボランティアを通じて、人のためになるだけでなく、自分自身の生きがいづくりや健康づくりに生かしてご活躍いただきたい。みなさんからの熱心な意見や要望等をいただき、反映できることは市政に反映していきたいと思います。本日は、ありがとうございました。

